



岐阜県土木施工管理技士会

■飛山濃水の国 岐阜

岐阜県は、北部は3千メートル級の急峻な山脈が連なる一方、南部は海拔0メートル地帯と大変起伏の富んだ地形により構成され、古来より「飛山濃水(ひさんのうすい)の国」と称されます。



標高3000mの穂高連峰と
海拔0mの千本松原

県庁所在地となる岐阜市は県南部の美濃地方に位置しており、1300年以上の伝統を誇る国重要無形民俗文化財の長良川鵜飼で有名な清流「長良川」が流れています。また長良川を見下ろす金華山の山頂にそびえる市のシンボル「岐阜城」は、戦国時代に「美濃を制するものは天下を制す」と織田信長公が奪取した城で、その際に城と町の名は「岐阜」と改められました。



岐阜城

飛騨高山の古い町並み

美濃西部には、天下分け目の戦い「関ヶ原の戦い」の舞台となった関ヶ原町があり、美濃東部には交通の要衝として栄えた中山道が通り、文豪・島崎藤村の小説『夜明け前』の舞台となった「馬籠宿」があります。

また、中部地域には日本三大盆踊りとし

て有名な「郡上踊り」が行われる郡上市があり、毎年約30万人以上の踊り子が全国から集い、浴衣姿で下駄を鳴らします。

一方、北部の飛騨地方には日本一の面積を誇る高山市があり、「飛騨の小京都」と呼ばれて毎年約400万人の観光客が訪れ、近くにそびえる北アルプスの山麗には、多彩なスタイルで楽しめる奥飛騨温泉郷があります。そのほか日本三大名泉の一つの下呂温泉や世界文化遺産である白川郷合掌造り集落なども周辺にあり、大変観光資源の豊かな地域です。

中部・北陸地域の観光エリアは「昇龍道」と名付けられおり、その主要アクセスとなる東海北陸自動車道が本県を縦断していることから、各名所を短時間で巡ることが出来ます。是非とも当地をお尋ねください。

■岐阜県技士会について

平成4年に設立し、現在(平成28年4月)の会員数は2,665名です。

県土の8割が山地で占められるなど、地形・地質的に荒廃しやすく、過去に幾度となる災害に見舞われており、災害時の緊急工事や応急工事は迅速な対応が必要となるほか、地理・地形・自然的要因等を加味した工法や本県の特性に合わせた施工技術が必要となります。このため、研修、講習等を重ねながら技術レベルの向上に努めています。

